キャラクター名

ヴェルサーチ・スミス

プレイヤー名

ポジション	ホリック	**享年**	16
メインクラス	レクイエム	**暗示**	罪人
サブクラス	ゴシック	**寵愛点**	14

初期配置	煉獄
最大行動値	11

能力値	**クラス**	**修正**	**合計**
武装	2	0	2
変異	1	2	3
改造	1	0	1

記憶のカケラ	内容
死の訪れ	顔も名前も思い出せない。でも、とても大切な人が死んだ。死んだことがとても哀しくて、胸にはぽっかり穴が開いた。でも、死んで生き返った今、あの人がちゃんと死ねてよかったと思う。
お茶会	小鳥の声、美しい庭園、白い椅子と白いテーブル、ティーポットから注がれる紅茶、甘い香りのクッキー。楽しい談笑。あなたが少年として生きた時の甘い記憶。その記憶はあなたを少年であり続けさせる
慢心	初めてバベルに足を踏み入れた日。いや、バベルに入る前から、私は慢心していた。優秀な成績と、周囲の羨望の眼差し。それこそが、バベルに入る前の私を形作っていた全てだった。だから、バベルの試験は、私にとって、単なる通過儀礼でしかなかった。試験官の「君は、バベルに入ってから、何を学びたいのかね？」という質問に、私は自信満々に答えた。「最強になります！」と。バベルの図書館にある、ありとあらゆる戦闘技術の書物を読破し、実践的な訓練も誰よりもこなしてきた。自分には、その自信と、それを裏付けるだけの努力があると、本気で思っていた。
後日談の世界	荒廃、あるいは崩壊しかけた世界。生物の気配が薄れ、万物の滅亡を予感させる。かつてそこにあったであろう、活気や文明の痕跡は、ほとんど残されていない。 それらの一切は長い時間をかけて風化、あるいは消え去ったのだろう。 どこまでも広がる荒涼とした大地。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	0	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
アンリ	対抗	3	①②③④⑤	
ユリア	友情	3	①②③④⑤	
レイ	保護	3	①②③④⑤	
ベル	信頼	2	①②③④⑤	
		3	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
ポジション		業怒		ダメージ	効果参照	自身	自身が与えたダメージに対してのみ使用可。コストとして、あなたは任意の未練に狂気点を一点加える。ダメージ+2
メインクラス		銃神		オート	なし	自身	射撃攻撃マニューバの攻撃判定において、出目＋１してもよい
メインクラス		子守唄		オート	なし	自身	バトルパートで射撃攻撃マニューバの攻撃判定出目－１、コスト－１（最低１）
サブクラス		背徳の悦び		ダメージ	0	自身	使用済みの「ラピッド」「ジャッジ」「ダメージ」のマニューバを１つ再使用可能にする。
				オート			
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃１
頭		カンフー		オート	なし	自身	最大行動値+1
頭		ボルトヘッド		ダメージ	1	自身	支援２
頭		きもちいいくすり		オート	1	自身	自信がダメージを受けた際のみ使用可。任意の未練から、狂気点を１減少させて良い。
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援１
腕		かた		アクション	4	自身	移動１
腕		ショットガン		アクション	2	0〜1	射撃攻撃1+爆発+攻撃判定の出目+1
				オート			
胴		せぼね		アクション	1	自身	同ターン内に次カウントで使うマニューバ１つのコスト-１（最低０）
胴		はらわた		オート	なし	なし	
胴		はらわた		オート	なし	なし	
胴		おとこのこ		オート	なし	自身	対話判定＋１
胴		壊れた部品		オート	なし	なし	たからもの。バトルパート終了時、任意の未練１つを選んで狂気点を１点減らす。このパーツの損傷時に所持パーツから取り除く。
				オート			
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害１
脚		しっぽ		オート	なし	自身	最大行動値+1